

令和6年7月25日からの大雨災害の概況

資料 2

(1) 人的被害 死者：3人（新庄市2、酒田市1） 軽傷：4人（舟形町1、新庄市3）

(2) 建物被害（住家） 全壊20棟、半壊526棟、一部破損2棟、床上浸水75棟、床下浸水1,019棟

(3) 被害総額 約1,116億円（過去最大）

(4) 避難所 最大開設数 22市町村 138カ所 最大避難者数 3,383人

◇災害救助法の適用状況 16市町村

適用市町村：

鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、村山市、尾花沢市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、三川町、庄内町、遊佐町



最上川氾濫状況（戸沢村蔵岡）



荒瀬川氾濫・住宅損壊状況（酒田市下青沢）



小屋渚川氾濫・住宅損壊状況（酒田市北青沢）

令和6年7月25日からの大雨における災害対応状況 (被災した市町村へのアンケート結果による)

- 令和6年7月25日からの大雨に係る初動・応急対応等に関する状況について、災害救助法が適用された16市町村に対し、アンケートを実施
- 以下の確認項目について、「円滑に対応できた点」及び「課題」を整理

<確認項目>

1 初動対応

- (1) 情報収集と避難情報の発令
- (2) 住民の避難行動
- (3) 災害対策本部の対応

3 復旧・復興に向けた対応

- (1) 罹災証明
- (2) 被災者への相談支援

2 応急対応

- (1) 避難所の設置運営
- (2) 災害廃棄物等への対応
- (3) 災害ボランティアセンターの設置運営

4 その他

- (1) 被災者の住まいの確保
- (2) 応援・受援体制
- (3) その他の課題

アンケート結果の概要

○被害概況

- ・ インフラを中心とする被害額が過去最大
- ・ 局所的に長期避難が必要な被害が発生

○災害対応

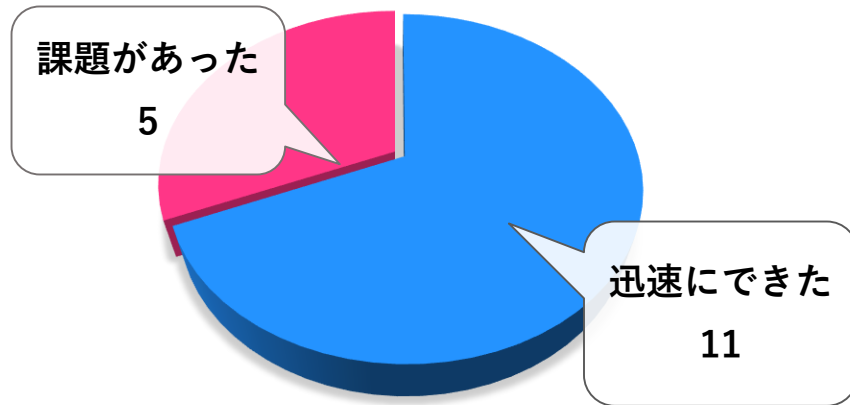
避難指示から避難所の開設、食事や物資の提供、罹災証明書の発行、被災者の仮住まいの確保まで概ね適切に対応

○災害対応における課題（主なもの）

- ・ 初動対応での情報収集と関係機関との情報共有
- ・ 自主防災組織の経験不足
- ・ 要配慮者の避難支援
- ・ 避難所運営における行政と住民との協力体制の構築と女性の参画
- ・ 災害ボランティアセンター設置に係る人員、ノウハウの不足
- ・ 災害廃棄物への対応
- ・ より大きな災害が発生した場合の対応への懸念

1 初動対応

(1) 情報収集と避難情報の発令



回答数：16市町村

<課題とされた内容>

○避難情報の発令

- ・発令に躊躇があった
- ・発令エリアと避難先の決定に時間を要した

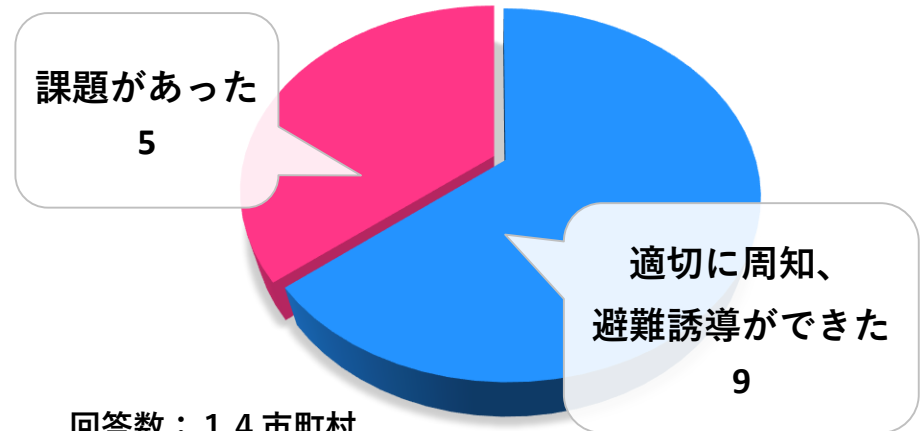
○被害情報の収集

孤立集落の状況把握に時間を要した

○関係機関との情報共有

市町村職員は現場対応に追われ、関係機関への十分な連絡・報告が難しかった

(2) 住民の避難行動



回答数：14市町村

<課題とされた内容>

○避難情報の住民への周知

防災行政無線が、雨音の影響で住民に十分伝わらない事例があった

○自主防災組織の経験不足

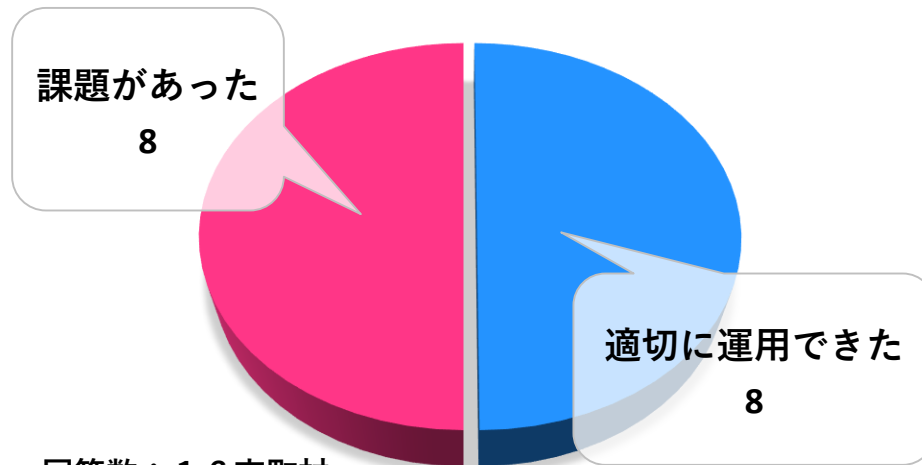
自主防災組織はあっても、実際の災害時の活動経験がないために、避難誘導の際に効果的に動けなかった事例もある

○要配慮者の避難

短時間に広範囲が浸水したことで、個別避難計画に基づく避難行動が実行できないケースが多かった

1 初動対応

(3) 災害対策本部の対応



回答数：16市町村

<課題とされた内容>

○防災情報システム等の運用

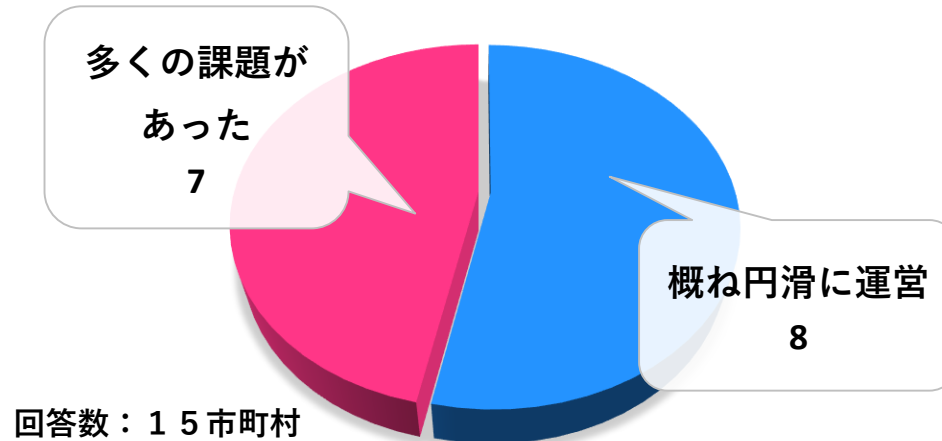
職員のマンパワー不足や不慣れもあり、防災情報システムに避難者数等をスムーズに入力することが難しかった

○庁内体制の不足

- ・ 想定を超える量の業務が発生したため、その対応に追われ、県や関係機関への連絡・報告が遅延した
- ・ 庁内の体制の強化が必要

2 応急対応

(1) 避難所の設置運営



<課題とされた内容>

○避難所運営の対応

- ・避難所の開設箇所が多くなったことや、1つの避難所運営に計画よりも多くの職員の配置を要したことで、災害対応のマンパワーが不足した。
- ・大規模災害時に備え、効率的な対応が必要
- ・避難所運営に関して、地域住民の参画が不十分なため、市町村職員に過度な負担がかかった。地域住民との協力体制の構築が必要

○トイレ

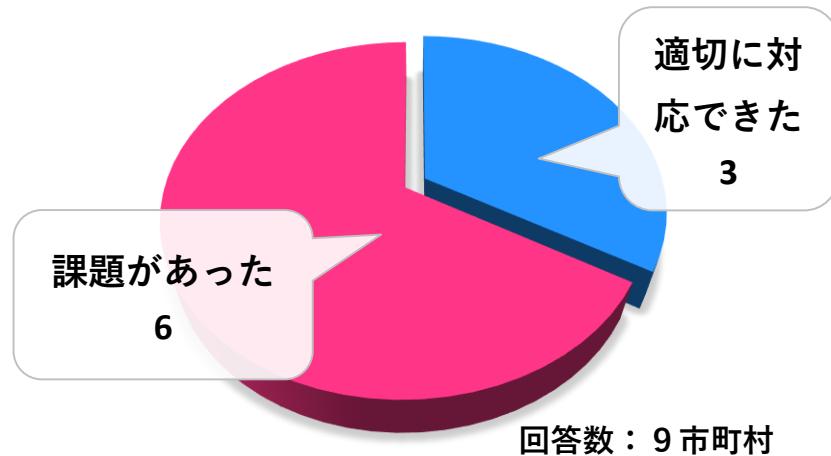
今回以上に規模が大きい災害で断水が発生した場合には、携帯トイレの不足が懸念され、備蓄の増強が必要

○女性等への配慮

- ・避難所の構造上、男女別のスペースを確保できない場合もある
- ・長期にわたる避難の場合には、女性リーダーの配置など、男女共同参画による避難所運営が必要

2 応急対応

(2) 災害廃棄物等への対応



<課題とされた内容>

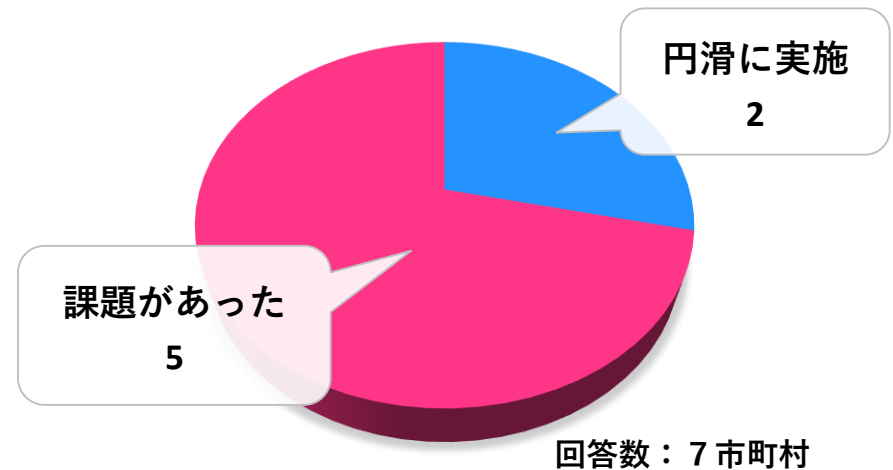
○災害廃棄物の処分

- ・ 予定していた仮置場が使えなかった
- ・ 集積所に運べない方への対応
- ・ 一般廃棄物として持ち込めない廃棄物の処分に課題

○堆積土砂の処分

仮置場の確保に時間を要した

(3) 災害ボランティアセンターの設置運営



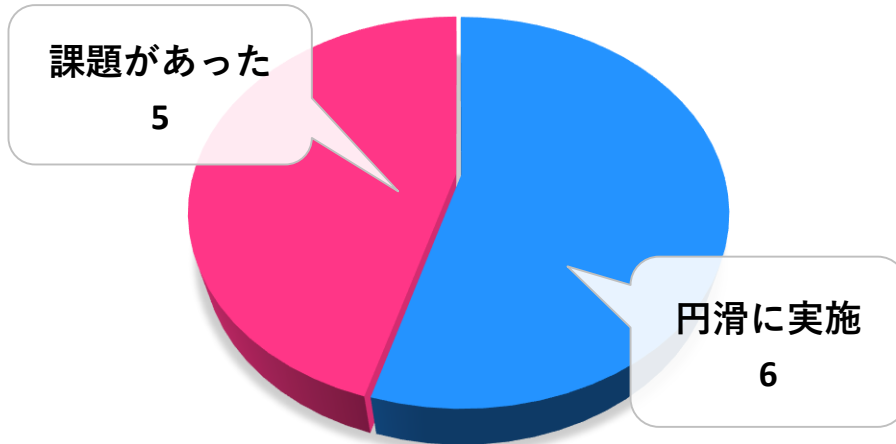
<課題とされた内容>

被災者のニーズの把握やボランティアセンターの設置までに時間を要した

災害ボランティアセンターの設置・運営に係る人員やノウハウ、資材等が不足し、訓練や資機材の準備が必要

3 復旧・復興に向けた対応

(1) 罹災証明



回答数：11市町村

<課題とされた内容>

- ・被害認定調査の担当職員が調査等で不在時の相談者への対応が困難
- ・制度を熟知した職員が足りない

(2) 被災者への相談支援



回答数：8市町村

<課題とされた内容>

- ・ワンストップ窓口の設置が必要だった
- ・関係する相談への対応で本来業務の制約となった

4 その他

(1) 被災者の住まいの確保

回答数：3 市町村

<円滑にできた点>

公営住宅の手配を迅速にできた

<課題とされた内容>

○被災者への情報提供

発災直後から対象者への制度の周知が必要であるが、通信途絶など連絡手段が制約されたため、対応に苦慮

(3) その他の課題

○今回よりも広域的な災害が発生し、避難者も多くライフラインも寸断された場合は、あらゆる面で対応が困難になると想定される

(6 市町村から同様の回答)

(2) 応援・受援体制

回答数：3 市町村

<円滑にできた点>

被災市町村の要請に基づき迅速に応援職員を派遣した

<課題とされた内容>

- ・ 受援計画が未策定のため、どのフェーズで何の業務に何人必要なのか整理できていなかった
- ・ 人的なリソースが不足する場合に備え、応急対策の応援職員の積極的な受け入れについて、活用の検討が必要